

のぼりバツ

広報

1/15
1997

No.555 合併号



主な内容

- ・市長、議長による年頭のあいさつ
- ・登別市の1996年を振り返って
- ・きらり 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
登別総合在宅ケアセンター長 小林洋子さん

手作りのしめなわで新年を迎えようと、12月14日(土)、登別市郷土資料館で「体験学習・しめなわ作り」が行われました。

同館ボランティアのみなさんの指導を受け、悪戦苦闘しながらも初めてのしめなわ作りに挑戦。

「できたらどこに飾ろうかな」「ちょっとおしゃれでしょう」と、友だちどうして会話を弾ませながら思い思いの作品に仕上げていました。

あけまして おめでとうございます

輝かしい新年を
迎えるにあたって



登別市長
上野 晃

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、当市の発展と市民福祉の向上のためご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年は、景気回復の足取りがいまだ緩く、経済情勢や雇用情勢に厳しさが続いています。当市の基幹産業である観光は、観光客の入り込み数の減少に歯止めがかかりつつあるも依然として厳しい情勢が続いています。しかし、市内での民間の宅地開発をはじめ市内の商品売上や設備投資に若干の回復の兆しも見られます。

このような中で、平成8年は、市民の皆様のご協力のもと、登別市の将来のまちづくりの基本となる新しい総合計画をスタートさせることができました。また、地方分権の時代を迎え、市民に最も近い立場で適切な行政サービスの展開を図るための行政改革については、西暦2001年を目標とする行政改革実施計画に基づく取り組みを市民の皆様のご理解とご協力により進めることができました。さらに、ファミリー・サポートセンターや総合在宅ケアセンターの事業開始、文化・スポーツ振興財団の設立、札幌・のほりべつ会の発足、登別温泉パイプスの本格着工、(仮称)千歳グリーンパークの着工など様々な課題解決に向けての取り組みを進めることができました。さて、新たな年、平成9年は、

21世紀を目前に控えて登別市が将来に向かって大きく飛躍できる希望の年にしたいと考えています。力強い産業経済活動の展開や快適な都市基盤の整備、少子化・高齢化社会に対応した保健福祉サービスの充実をもとより、懸案のごみ処理施設や火葬場の建て替え、さらには災害に強いまちづくり、男女共同参画社会づくり、国際化、高度情報化への対応など、夢あふれるふるさとを未来づくりのため、市民の皆様とともにまちづくりに取り組んでまいります。ご協力をお願いいたします。最後に、市民の皆様のご多幸をお祈りして新年のごあいさつといたします。



登別市議会議員
小坂 義昭

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年を迎えるにあたり、市議会を代表して市民の皆様にごあいさつを申し上げます。今日の日本経済を見ますと、長期化する景気低迷の中にあつて、株価の回復基調と対外収支の黒字縮小等を背景に円相場が軟化傾向にあること、また、公共投資や住宅投資が高水準を続けているなど、全体的には緩やかな回復が続いているものの、依然として厳しい状況にあります。登別市の行財政運営も、その影響を受け厳しい状況にあります。一方では、少子化・高齢化に対応

した保健、福祉サービスの展開、災害に強いまちづくりなど市民ニーズも多様化しております。しかし、このような中にあつて、昨年は、総合福祉センター「しんた21」を拠点とし、看護や介護を必要とするお年寄りや障害者をもつ方に、保健・福祉・医療サービスを提供する登別総合在宅ケアセンターが開所されました。また、12月には、道内では初めての試みである地域において育児の援助を行いたい人と、援助を受けたい人が集まって、お互いに助け合うシステムの登別市ファミリーサポートセンターが開始されるなど、より一層の福祉の充実を目指

す登別市にとって大きな弾みになっています。今後、来るべき21世紀に向け、急速に進むであろう高齢化、国際化など、当面する課題も山積しておりますが、夢と希望のもてる郷土「登別」を建設するため議会としても議員28名が一丸となって市民生活の安定と福祉の向上を図るため、議決機関としての機能を十分発揮し、市民の皆様のご付託に応じてまいります。最後に、この一年が市民の皆様にとってご健勝とご繁栄の年でありますことを心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

登別市の

1996年を振り返って



あけましておめでとうございます。

輝かしい新年を迎え、みなさん、これから1年の抱負や希望、夢などをいろいろとお持ちのことでしょう。

昨年平成8年は、登別市にとって、新総合計画や行政改革実施計画のスタートの年であり、また、登別市文化・スポーツ振興財団や登別総合在宅ケアセンター、登別市ファミリーサポートセンターが設立されるなど、まさに「始まりの年」でした。

みなさんにとっては、どのような1年でしたか。いろいろな出来事があった登別市の1996年を、写真などでちょっとだけ振り返ってみたいと思います。

今年、登別市では、(仮称)千歳グリーンパークの完成や新しいごみ処理施設の建設などが予定され、さらに住みよいまちづくりのため、今年の干支、丑(牛)のように着実に歩み続けます。

「広報のほりべつ」も、市の新しい事業や市内の動きなどを、よりわかりやすくお知らせしていきたいと考えていますので、今年もよろしく願います。

みなさんにとっても、よい1年になりますように。

札幌雪まつりに
えん魔大王の雪像が登場



ふるさと冬まつり



▲カルルス温泉スキーまつり



▲平成8年成人祭



室蘭・登別・伊達三市防災協定調印式

▲三市防災協定調印式

美園保育所閉所式



▲俱多桑湖が
全面結氷

3月					2月				1月							
31	22	12	8	4 27	3	25	24 25	19	10	6 12	3 4	17	15	12	8	
第32回カルルス温泉スキーまつり 第1回登別市議会定例会 市政執行方針が発表され、新総合計画 案や平成8年度予算案などを議決 登別市出身松木圓さん演出による劇団 阿修羅「十二人の怒れる男達」公演 しんた21トレーニングルーム利用者が 1万5千人を突破 美園保育所で閉所式 4月から鷺別保育所に統合 鉾山簡易郵便局を廃止					第7回ふるさと冬まつり 俱多桑湖の全面結氷を確認 市民ボランティアフォーラム 札幌室内オーケストラ・ファミリーコ ンサート				第25回登別温泉湯まつり 第47回札幌雪まつりにえん魔大王の雪像 が登場 室蘭・登別・伊達の3市が防災協定を 締結 (新成人は943人)				市役所仕事始め・消防出初め式 第19回つけものフェスティバル 登別マリナーパーク・ニクスで成人祭 (新成人は943人)			

最高気温



死亡数



出生数



数字でみる1996年

登別市

なんでもデータ

データは観光客入り込み数
を除き、平成8年1月から11
月末日までの数値に基づいて
います



▲登別地獄まつり ▲



▲のほりべつ豊水まつり



▲フラワーパレットのほりべつ

▶胆振生涯学習フェスティバル



▲登別漁港まつりでの
踊りパレード



▲北海道クロスカントリーレース



▲登別七夕まつり

9月					8月					7月									
22	14	11	9	8	7	23	16	12	11	3	1	1	20	20	15	6	5	1	
	・		・		・	・				・	・		・	・	・	・	・		・
	15		26	8	8	25				4			21	21	15	7	5		1
第19回登別漁港まつり 第1回胆振生涯学習フェスティバル 市内小学3年生を対象に温泉入浴体験学習始まる 上野市長が3期目の所信を表明 第3回登別市議会定例会 第10回北海道クロスカントリーレース 第13回大地の祭典					劇団四季ファミリーミュージカル「雪ん子」公演 中学生海外派遣研修生7人がデンマークへ向け出発 第33回登別地獄まつり 投票率は44.88%					登別総合在宅ケアセンター開設 登別市ファミリーサポートセンター開設 登別グリーン・ピアサマーフェスティバル 登別市長選挙・登別市議会議員補欠選挙が行われ、上野晃市長、高橋正美議員が当選					登別市地区防災担当職員40人に指名通知書を交付 デンマーク研修生2名が来登 第9回登別七夕まつり 美園配水池通水式 第1回のほりべつ豊水まつり '96フラワーパレットのほりべつ				

火災件数

29件

交通事故件数
(人身事故)

226件

下水道使用量
1世帯あたり

171.9 t

水道使用量
1世帯あたり推計

170.4m³

登別市の1996年を振り返って

4月～6月

桜ざか
駐車公園
完成記念イベント
での熊舞い



▲文化伝承館
開館記念式典での
札内神楽獅子舞



▲白老町との防災協定調印

登子連こいのぼりマラソン大会



▲こいのぼりマラソン



▲ラブグリーンフェスティバル

▶
チ多楽湖の
釣り解禁



6月

5月

4月

24 21 15 14 7 7 29 29 28 18 15 11 5 13 1 1 1 1

登別市防災協力員107人に委嘱状を交付
ラブグリーンフェスティバル
in KAMEDA
第2回登別市議会定例会
市内初の眼科医院「わかかさ眼科クリニック」開院
登別デンマーク協会設立
東海銀行女子陸上部合宿入り
(12月8日に行われた全日本実業団女子駅伝で4位入賞)

第21回こいのぼりマラソン大会
桜ざか駐車公園完成記念イベント
登別市議会だより「でいすかす」創刊
チ多楽湖の釣り解禁
白老町と災害時相互応援協定を締結
市営牧場で乳牛の放牧が始まる
緑色の桜「御衣黄」が開花

市役所本庁舎で総合案内業務始まる
リフォーム(住宅改良)ヘルパー派遣事業始まる
鷺別保育所で延長保育始まる
助登別市文化・スポーツ振興財団が業務を開始
登別市文化伝承館開館記念式典

ごみ排出量(家庭系ごみ)
市民1人あたり

246.4kg

降雪量

201cm

降水量

1,759mm

最低気温

-15.9℃
(2月2日)

登別市の1996年を振り返って

10月~12月



幌別川に
ハクチョウ飛来



市民健康まつりでの
チェアボール大会

平成8年度の
功労者表彰・市民表彰を
受けられた方々



平成8年度 登別市 功労者表彰 市民表彰 表彰式



▲北大病院
登別分院閉院式



▲鷺別駅新駅舎



▲はまもと洋カルテットクリスマスコンサート



◀のほりべつ
伝統芸能まつり

12月				11月				10月								
14	13	10	1	27	21	5	3	22	20	20	13	13	12	7	7	6
<p>登別市ファミリーサポートセンター発 会式</p> <p>北大医学部付属病院登別分院で閉院式 幌別中学校卒業のはまもと洋さん率 いる「はまもと洋カルテットクリスマス コンサート」公演</p> <p>第4回登別市議会定例会 カルルス・サンライバスキー場安全祈 願祭(21日オープン)</p> <p>恵愛病院新院舎しゅん工式</p>				<p>登別市功労者・市民表彰式</p> <p>給食サービスパイロット事業始まる</p> <p>菊地衛助役が2期8年の任期を終え退 任</p> <p>登別温泉自主防災会連合会発足</p>				<p>鷺別駅の新駅舎が開業</p> <p>知里真志保の顕彰碑が登別小学校に移 転</p> <p>第3回ジャンボかぼちゃコンテストで 幌別東小1年1組が優勝</p> <p>幌別川にオオハクチョウ飛来</p> <p>第9回登別市民健康まつり</p> <p>のほりべつ伝統芸能まつり'96</p> <p>衆議院議員総選挙</p> <p>登別市の投票率は58.24%</p> <p>青葉小学校開校20周年記念式典</p> <p>札幌・のほりべつ会発足</p>				<p>鷺別駅の新駅舎が開業</p> <p>知里真志保の顕彰碑が登別小学校に移 転</p> <p>第3回ジャンボかぼちゃコンテストで 幌別東小1年1組が優勝</p> <p>幌別川にオオハクチョウ飛来</p> <p>第9回登別市民健康まつり</p> <p>のほりべつ伝統芸能まつり'96</p> <p>衆議院議員総選挙</p> <p>登別市の投票率は58.24%</p> <p>青葉小学校開校20周年記念式典</p> <p>札幌・のほりべつ会発足</p>				

図書貸出冊数

145,009冊

しんた21トレーニン
グループ利用者数

8,334人

観光客入り込み数
(平成8年1月~9月)

276万人

救急車出動件数

1,441件



恵愛病院の新院舎完成

地域医療と福祉の新たな中核病院へ

鷺別町2丁目3番地に恵愛病院（遠藤秀雄院長）の新院舎（ベッド数250）が完成し、12月14日（土）にしゅん工式が行われました。

鷺別川沿いに完成した新病院は、大規模の地震にも耐えられるよう免震工法を導入し、鉄筋コンクリート6階建ての本院と2階建ての管理棟で構成され、広さは旧病院の約2倍。新病院には、痴ほう症患者のための療養棟や多目的ホールなどが設けられています。

旧病院には、建物の一部を痴ほう症患者や脳障害後遺症患者を主体としてデイ・ケアセンター機能や社会復帰を目指す精神障害者の援護寮の設置が予定されています。新病院での外来診察は、12月24日（火）から始まりました。



みなさんの声を 市政に反映していきます

11月20日（水）から12月3日（火）の9日間にわたり市内10地区で、市役所部長職対応による初の地区こん談会が行われました。この地区こん談会は、市長出席の市政こん談会の前段階として市の部長職が、市の最新情報をお知らせし、市民のみなさんの生の声を市政に生かすために行われたもので、9日間10地区で317人の市民の方の出席がありました。

形式張らず「ざっくばらん」に行われたこん談会では、住環境問題や地区の活性化などの課題が熱心に話し合われました。



ウィンタースポーツ幕開け サンライバスキー場オープン

カルルス町の来馬岳（標高1040m）の腹に広がる「サンライバスキー場」が12月21日（土）、オープンしました。

オープンに先立ち、12月13日（金）には、同スキー場のロッジ内でシーズン中の無事故を願い、スキー場関係者などにより安全祈願祭が行われました。

昨シーズン、約70万人が訪れた同スキー場は、3月末まで、カラフルなウエアに身を包んだスキーヤーやスノーボーダーでにぎわいを見せます。



東 奔



おいしい夕食を届けたい

給食サービスパイロット事業

市は、11月から一人暮らしのお年寄りの方などに夕食を届ける「給食サービスパイロット事業」を開始しました。

この事業は、来年度からの本格実施に向けての参考とするため、11月から1月までの3カ月間を試行期間として行われ、市内の20人のお年寄りの方々に週2回、1食500円の夕食を届けています。

サービスを受けている方の一人、栄町の四方ミネさんは、「自分で作れないものを作って届けてくれるので、大変助かっていますよ。これからも続けてほしいですね」と、笑顔で話してくれました。



▲発会式後の交流会の様子

子育て支援体制がスタート

登別市ファミリーサポートセンター発会式

12月1日(日)、登別市ファミリーサポートセンターの事業開始を記念する発会式が、しんた21で行われました。

登別市ファミリーサポートセンターは、育児の援助を受けたい方と援助したい方からなる会員組織として、8月1日に北海道で初めて設立され、11月末現在、117名の会員が登録しています。

発会式の後、依頼会員や提供会員による交流会が行われ、レクリエーションや意見交換などで交流を深めました。ファミリーサポートセンターでは随時、会員を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

▼問い合わせ 登別市ファミリーサポートセンター

(☎850033)

登別市老人クラブ連合会女性部

部長 宮城 丰 工さん

☎831075

仲間たち

仲間の和づくりを大切に



登別市老人クラブ連合会女性部は、老人クラブに加入している女性たちが、ボランティアだけにとどまらない女性の活動の場をつくらうと、ボランティア部から名称を変更して平成5年に発足しました。

部員は各単位老人クラブの女性代表者などで構成され、現在83名の方々が所属しています。

月1回の定例会では、各老人クラブの問題点や現在の社会情勢などについて話し合い、みなさん活発に意見を出し合っています。

またボランティア活動として、毎日、友愛電話サービスを行っています。これは、部員の方々

が交替で一人暮らしのお年寄りの家に電話をかけ、「お元気でですか。おかわりないですか」と声掛けをするもので、電話を受けるみなさんは週2回の電話を心待ちにしているそうです。

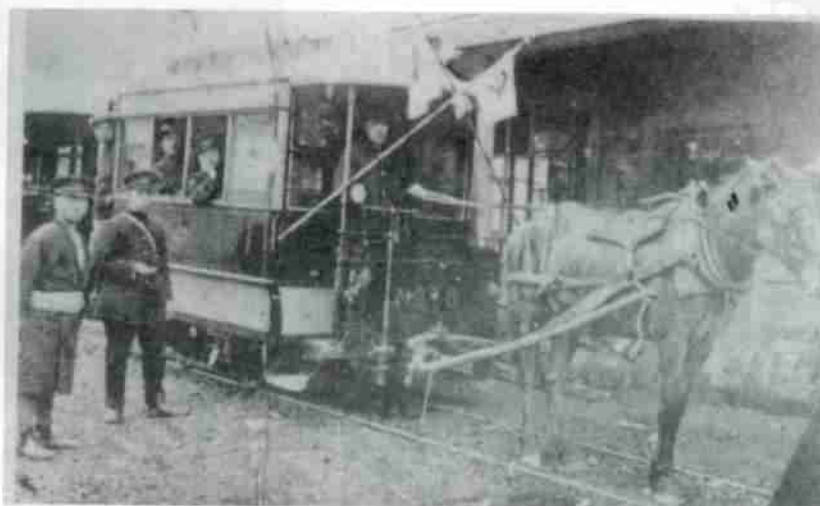
このほかにも、温泉から出る古い浴衣などからおむつ用のあて布を作り、緑風園などへの寄付を発足当時から続けています。

部長の宮城さんは「これから年をとっても自立していかなくてはならないですから、仲間の和を大切にしながら楽しくやっています。来年で5年になるので、何か記念になることをしたいなと思っていますんですよ」と話してくれました。

比田井天来揮毫の頌徳碑をめぐる(2)

登別と栗林五朔との関わり

登別郷土文化研究会 宮武 紳一



▲栗林五朔(1866年～1927年)
登別温泉の近代化をはかり、
登別に製鉄所をつくるなど
登別市の工業の先駆けをはたす

▲大正4年12月1日から登別と登別温泉間を走った
鉄道馬車のようす

ふるさと
登別

滝本金蔵(1826年～1899年)
74歳の生涯を登別温泉の開発につとめる

事業の経過を簡単に述べると、明治26年日本郵船の代理店となり、続いて北海道炭鉱鉄道社長の井上角五郎の援助で、室蘭港の石炭荷役事業、後に母恋の日本製鋼所・苫小牧の王子製紙工場の建設資材の一切を引き受け、特に海運事業で進展し、大正11年には自社船・備船など52隻を駆使、本州・朝鮮・樺太・南方方面へと進出している。

一方、滝本金蔵が、登別・登別温泉間に4人乗りの客馬車を走らせたのが明治24年で齢は66歳。温泉の開発に精根を傾けながら明治32年(1899年)74歳で他界した。ところが、後継の2代目金之助も3年後に没し、金蔵の妻左多

も病没。滝本館は金之助の妻ハマが女手一人で奮闘したが、このような中で栗林五朔が登場する。

実は、滝本ハマ(旧姓木下)の実兄に木下成太郎が居た。彼は東京帝大(東京大学)に入学し、後に北海道政界の長老と言われ、中央政界の衆議院で木下太閤(豊臣秀吉に因む)と称せられた人物。父の木下弥八郎は、但馬国(兵庫県)豊岡藩の家老で、明治15年に幌別村オカシベツ(千歳町)に入植し、登別との関わりが深い。

滝本金之助とハマの結婚も、このような縁からであろう。

栗林五朔は、前記の実業家としての活動もあるが、彼も道議会議員・衆議院議員として、木下成太郎と同様に政界で活躍、年齢も1つ違いで知友の仲にあった。

五朔は、ハマの実兄からの要請で「運送屋が、温泉や湯宿を買うのはお門違い」と、他の経済人からも忠告をうけたが「運送屋も金に足が生えて散りやすい、北海道が発展し温泉に価値があるとお互いが繁栄する。利益がなくとも悔ゆることはない」と言って、大正2年(1913年)10万円で土地・旅館浴室の建物・道路・橋梁石垣・温泉及び引湯施設・水道など、温泉の諸権利を買いとった。

当時として莫大な権利であったので「五朔が、登別温泉のまちをそっくり買いとった」と郡内や近隣町村で騒がれたほどである。

さて五朔は、当時の交通機関が乗合い馬車で悪路の泥道を走り外湯の入浴も自由放任、不潔感があり温泉の整備・近代化のためにと登別温泉軌道会社を設立し、大正4年12月、馬車鉄道を開通させた。乗車賃は片道25銭、登別・温泉間を約1時間で走る。

その時の、珍しい情景を書いた「登別温泉場唱歌」が残っているので「汽笛一声新橋を…」の節で歌いながら温泉路を辿ってみよう。

帝国鉄道室蘭線 上り下りの汽車の来 アヨロランボツケ壁道を
落れば 早くも登別
北海一の温泉場 此処より降りて
一里半 湯あみがたらに山道を
客待ち馬車へと 乗り替えぬ
駅より走せて十餘丁 汐見坂より
見渡せば 海のあなたの恵山岬
太平洋岸 波静か
何時しか海も見えずなり 紅葉橋
やら十字橋 渡り渡りて今は赤
妻恋坂にと かかりけり
越ゆる断崖絶壁を 横きり走る三
四丁 左に深く鹿の沢
流れもけわし 葉川
此処ら辺りは紅葉谷 秋の景色は
最も良し 七重の坂や赤岩を
過ぎて 錦の清水あり
温泉湯の香り高々と 辿り辿りて
仏坂 乗りたる馬車は一時間
早や 温泉場へ着きにけり

点線場所は現在のどこでしょうか。

きらり

高齢者が安心して暮らせるまちづくり 登別総合在宅ケアセンター

センター長 小林 洋子さん



在宅の高齢者とその家族に総合的なケアサービスを提供するため、昨年8月、しんた21内に在宅介護支援センターと訪問看護ステーションの機能を併せ持つ「登別総合在宅ケアセンター」がオープンしました。

幅広い活動を展開している登別総合在宅ケアセンターの内容について、センター長の小林さんに話を聞きました。

―活動内容を教えてください？

「訪問看護ステーション利用者は寝たきりの方4名を含め現在18名で、若い人で62歳、最高齢者で93歳です。医療的なケアが必要なケースは現在少ないのですが、入浴のお手伝いや着替えなどの身の回りのお世話や床擦れの処置、リハビリなど、看護婦4名が担当を決め対応しています。」

また、看護や介護に関する総合相談窓口として在宅介護支援センターがあり保健婦、介護福祉士の2名の職員が対応しております」

スタッフみんなで研さんを積んでおります」

「私たちが訪問する日を楽しみに待っていてくれるんですよ。私たちがかわかることによって症状が回復し、言葉が増えたり、寝たきりの方が少し座位を取れるようになったり変化がみられますね。家族の方も何かあったときにいつでも相談できるし、安心してすよといってくれます」

「住み慣れた地域や家庭で、その人が自分らしい人生を送るために少しでも力になればいいなと思っています。多くの人に利用していただきたいですね」とやさしく話してくれました。

―日ごろどのようなことに注意していますか？

「訪問は依頼者の生活の中に入っていくこともあり、プライバシーに直接触れる場面もありますから慎重に対応するよう心掛けています。」

今までの看護経験を発揮できる職場であり、やりがいのある仕事です。難しい面もたくさんありますが、「いいケアができるよう」



▲利用者に贈るため、クリスマスカード作りに取り組むスタッフ

▼問い合わせ 登別総合在宅ケアセンター (☎011-222221)

新栄町の望月製菓所(株)は、企業ボランティアとして、先月号で紹介した熊谷信子さんが行う給食サービスの配達を協力しています。

いまいきボランティア

力を合わせて大きな力に！
地域に密着した企業ボランティア

張っています。

これからは、会社も地域の一人として住民に密着したボランティア活動が大切だと思います」と、話してくれました。

ボランティアセンター伝言板

近年、社会貢献活動に取り組む企業が増えてきています。

ボランティアセンターでは、企業が持つ独自の技術や手法を生かした企業ボランティアを募集しています。

ボランティアセンターが、企業と地域とのパイプ役となり、活動のお手伝いをしますので、お気軽にご相談ください。

▼問い合わせ 登別市社会福祉協議会ボランティアセンター (☎0860)

この活動を会社ぐるみで始めたきっかけは、熊谷さんが、給食サービスの利用が増えたため弁当の配達を手伝ってくださる人を探していることを知った泉田社長が、事務と営業部門の従業員に声を掛けたところ、全員がぜひ協力したいと申し出てくれたことでした。



▶お弁当を配達する望月さん。
「ありがたいことですね。お礼の一言が一番うれしいです。」

第26回登別温泉湯まつり

2月3日(月)・4日(火)



第26回登別温泉湯まつりプログラム

2月3日(月) 節分			
時間	行事名	会場	内容
13:00 ↓ 15:00	カルルス訪問	カルルス温泉	カルルス温泉の湯治客を訪問し、湯鬼神かぐらを披露します。
18:00 ↓ 20:00	厄払い湯鬼神群舞	登別温泉街	大勢の鬼たちが町にくり出し、観光客や市民のみなさんの1年の厄払いを行います。
20:00 ↓ 20:40	郷土芸能 湯鬼神かぐら 厄払い豆まき 郷土芸能 子宝もちつき舞 湯の華もちサービス 甘酒・湯鬼酒サービス	まつり広場 (登別パライズ前)	湯まつりの主役・湯鬼神が踊り、年男が厄払いの豆まきを行います。登別温泉の名湯「子宝湯」にちなんだ郷土芸能。ついたものはみなさんにプレゼント。
2月4日(火) 立春			
時間	行事名	会場	内容
12:00 ↓ 15:00	温泉入浴ご招待		登別温泉旅館組合が市民1,000名を温泉入浴にご招待。
18:00 ↓ 20:00	厄払い湯鬼神群舞	各旅館・ホテル	赤鬼・青鬼の湯鬼神が旅館、ホテルを回って厄払いを行います。
20:00 ↓ 20:40	郷土芸能 湯鬼神かぐら 厄払い豆まき 郷土芸能 子宝もちつき舞 湯の華もちサービス 甘酒・湯鬼酒サービス	まつり広場 (登別パライズ前)	創作郷土芸能湯鬼神かぐらが披露され年男による豆まきが行われます。子宝もちつき舞いでついたものは集まったお客様にサービスされます。
20:40 ↓ 21:00	源泉湯かけ合戦 道祖神裸ねりこみ	まつり広場 (登別パライズ前)	厳寒の夜、裸の若者によって勇壮な湯かけ合戦がくり広げられます。

※都合により時間・催し物が一部変更する場合があります。

第26回登別温泉湯まつりが2月3日(月)、4日(火)に行われます。この祭りは、11種類の温泉の豊富な湯がつきることのないように祈願するとともに、温泉の効能に感謝し、開運と無病息災を祈る祭りです。

年に一度の節分にあわせ、エンマ大王の使者である赤鬼、青鬼の「湯鬼神」が温泉街を回って厄払いを行い、みなさんや登別温泉の悪い厄を一身に集めます。

「湯鬼神」が来たら「福は内、福は内」と豆をまいて、厄払いをしましょう。

4日(火)、20時40分からは、祭りのフィナーレを飾る勇壮な「湯か

け合戦」が行われます。

◎登別温泉入浴ご招待のお知らせ
登別温泉旅館組合は、市民のみなさんを温泉入浴にご招待します。

▼日時 2月4日(火) 12時～15時

▼定員 1千名(市民の方に限り
ます。応募多数の場合は抽選)

▼応募方法 往復はがきの往信の裏に代表者の住所、電話番号、年齢、入浴を希望する全員の氏名(5名まで)を明記し、返信の表に応募者のあて名を明記し、1月20日(月)までに申し込みください。

▼申し込み・問い合わせ 登別温泉旅館組合(〒059-05 登別温泉町60番地 ☎3311)

平成9年度
保育所児童募集

市は、平成9年度市立保育所の入所児童を募集します。

保育所名	所在地
富士保育所	富士町7丁目2～1
幌別東保育所	幌別町8丁目17
栄町保育所	栄町2丁目6～1
鶯別保育所	鶯別町4丁目36～18
登別保育所	登別東町1丁目14～5
登別温泉保育所	登別温泉町92～1
富浦保育所	富浦町1丁目53

- ▼入所資格
- ◎富士・幌別東・栄町・鶯別保育所
生後6カ月以上のお子さん
 - ◎登別・登別温泉・富浦保育所
満3歳以上のお子さん
- ※なお、富士保育所では満3歳以上で心身の発達に心配があるお子さんの保育を行っています。また鶯別保育所では通常の保育時間を超えて19時までの保育を行っています。
- ▼対象家庭
- ◎母親が昼間、仕事(家事以外)をするため保育できない家庭
 - ◎母親のいない家庭
 - ◎母親が病気、心身に障害がある、出産前後などで保育できない家庭

◎病人の看護など、家庭内に長期にわたる病人、心身に障害のある方がいるため保育できない家庭

▼申請書の交付・受け付け
1月6日(月)～17日(金)までに、児童家庭課または各支所に備え付けの申請書で申し込みください

▼問い合わせ
児童家庭課
(☎5634)

20歳がスタート!
「国民年金」

20歳になると、学生や自営業などの方は、国民年金の第1号被保険者となり、サラリーマンの配偶者の方は第3号被保険者として国民年金窓口で加入の手続きをしなければなりません。

忘れずに手続きしましょう。
※会社などに勤めていて、厚生年金や共済組合に加入している方は手続きは不要です。

▼問い合わせ
保険年金課
(☎1771)

第27回
小・中学生書初め展
作品募集

▼対象
市内に居住する小・中学生(幼児も可)

▼作品
1人1点、語句は自由、小画仙紙2分の1(67.5cm×35cm)で縦書(作品の裏左下に住所、氏名、学校名、学年を記入してください)

▼参加料
500円(受付時に納入)

▼作品受付
1月19日(日) 9時30分～10時 市民会館老人休養室

▼作品展示
2月1日(土)、2日(日) 市民会館中ホール

▼問い合わせ
登別書道連盟成田さん(☎2067)

毎月「5」のつく日は
しんた21の体力測定会

しんた21の体力測定会は毎月5のつく日(5日、15日、25日)に行います。(5のつく日が休館日の場合はその翌日に実施)

ご利用前に体力測定を受けるとより効果的な健康づくりができます。

なお、測定時間中はトレーニングルームの一般利用はできません。

2月の体力測定会

日(曜日)	時間
5日(水)	14:00～16:00
15日(土)	10:00～12:00
25日(火)	19:00～21:00

(休館日は月曜日と祝日の翌日まで)

▼参加料
500円

▼定員
各日18名(申込順)

※測定者は半そでのTシャツなどを着用ください。

▼申し込み
1月21日(火)以降、保健福祉課(しんた21内☎0100)

文化・スポーツ振興財団
からのお知らせ

申し込み
問い合わせ

文化・スポーツ振興財団

☎881116

文化・スポーツ振興財団は、市民のみなさんを対象に各種教室(無料)を開きます。お気軽にご参加ください。

※各教室は定員になりしだい締め切ります。

また、和の激突「津軽三味線VS和太鼓」の入場券も好評発売中です。ぜひ、ご覧ください。

◎和の激突「津軽三味線VS和太鼓」

▼日時
2月14日(金) 18時開場、18時30分開演

▼会場
市民会館

▼演奏曲目
津軽じょんがら節、津軽よされ節、祭り太鼓など

▼入場料
2千円

▼入場券取扱所
市民会館、市役所内売店、アーニス

教室名	月日	場所	時間	定員	申し込み期限
和裁教室	1/16(木)、1/20(月)、1/23(木)、1/27(月)、1/30(木)	市民会館老人休養室	10:00～12:00	20名	1月13日(月)
編み物教室	1/17(金)、1/21(火)、1/24(金)、1/28(火)、1/31(金)	市民会館老人休養室	10:00～12:00	20名	1月13日(月)
和太鼓入門講座	1/22(木)	市民会館調理室	10:00～13:00	30名	1月13日(月)
レクダンス教室	1/31(金)	登別温泉公民館	10:00～12:00	各50名	1月24日(金)
	2/7(金)、2/26(木)	市民会館中ホール			
	2/14(金)	婦人センター			
	2/21(金)	鶯別公民館			
魚拓教室	2/3(月)～2/5(水)	市民会館視聴覚室	10:00～12:00	10名	1月24日(金)
太極拳教室	2/4(火)、2/12(水)、2/18(火)、2/25(火)、3/4(火)	市民会館中ホール	10:00～12:00	30名	1月24日(金)

親子ふれあい教室

「こけし絵づけ教室」

政務委員会主催 登別市姉妹市交流推進協議会協賛



- ▼日時 1月26日(日) 13時～15時
- ▼場所 アーニス広場
- ▼対象 市内に居住する親子(小学生以上)
- ▼定員 親子20組(申込順)
- ▼参加料 無料
- ▼講師 清水たかよさん(弥次郎系こけし工人)
- ▼申し込み・問い合わせ 1月13日(月)～24日(金)までに電話で社会教育課(☎1100)

建設工事・物品などの
指名願いを受け付けます

- 市は、平成9～10年度の建設工事、設計、測量、物品などに入札参加を希望する事業者の資格審査申請を受け付けます。
- ▼受付期間 2月3日(月)～2月20日(木)(ただし、土・日曜日および祝日は除きます)

- ▼受付時間 9時30分～12時、13時～16時
- ▼受付場所など

事業種別	受付場所	提出書類	問い合わせ
建設工事 設計 測量など	市役所3階 第2会議室	旭北海道土木協会作成の市町村統一様式を使用してください。 (登別建設協会にて取り扱い)	契約管財課 (☎1184)
物品など	市役所2階 財政課用度経理係	財政課用度経理係に備え付けの市指定様式を使用してください。	財政課 (☎1331)

日本赤十字社
一般家庭看護法(短期)一
講習会を開催します

- 日本赤十字社登別市地区は、専門の講師を招き、家族の健康を守るため、病人がでたときの看護の知識と技術を、実習を通じ一人ひとりわかりやすく指導します。
- 1日だけの短期講習ですのでお

- ▼日時 1月20日(月) 14時～
- ▼場所 市民会館中ホール

気軽に参加ください。

- ▼日時 2月5日(木) 10時～15時
- ▼場所 しんた21(2階多目的ホール)
- ▼定員 30名程度
- ▼受講料 無料
- ▼申し込み・問い合わせ 1月29日(木)までに日本赤十字社登別市地区事務局(社会福祉課内☎1911)

冬道安全運転技能講習会

参加者募集
冬道安全運転の基本を再チェックしませんか?

1月30日(休)	2月1日(土)
8:30～9:30	8:30～9:30
9:00～10:00	9:00～10:00
9:30～10:30	9:30～10:30
10:00～11:00	10:00～11:00
10:30～11:30	10:30～11:30
19:00～20:00	13:00～14:00
19:30～20:30	13:30～14:30
20:00～21:00	14:00～15:00

- ▼場所 登別自動車学校
- ▼参加料 無料
- ▼内容 スタッドレスタイヤ安全運転技術用ビデオ視聴(20分程度)、運転体験(凍結路、登り坂など)
- ▼申し込み・問い合わせ 1月22日(木)までに市民課(☎1855)

健康相談・診査

健康相談

月日	受付時間	場 所
2月7日(金)		
2月18日(火)	10:00～	しんた21
2月28日(金)		
2月5日(木)	10:00～	鶯別公民館
2月6日(木)	10:00～	婦人センター

問い合わせ

保健福祉課(しんた21内)
☎0100

- ▼対象 満40歳以上の方(現在通院中の方は除きます)
- ▼内容 血圧、糖尿病、高脂血症など保健婦、栄養士による相談
- ▼申し込み 1月29日(木)までに事前に申し込みください
- ※相談時間は申し込みの際にお知らせします。
- 3カ月児・4カ月児健康診査
- ▼月日 2月20日(木)
- ▼受付時間 12時15分～12時30分
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 平成8年10月に生まれたお子さん
- ▼内容 医師による診察、身体計測、育児相談、栄養相談
- ▼持参するもの 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ
- 1歳6カ月児健康診査
- ▼月日・対象

受付時間	対 象
10:00	7カ月児(平成8年6月に生れたお子さん)
10:30	
13:00	育児相談を希望される方
13:30	

- ▼場所 しんた21
- ▼内容 身体計測、発育発達、離乳食、予防接種、その他育児全般に関する相談

- 2月13日(木) 平成7年7月1日から平成7年7月20日までに生まれたお子さん
- 2月27日(木) 平成7年7月21日から平成7年8月10日までに生まれたお子さん
- ※対象児には、事前に問診票を送りつけています
- ▼受付時間 12時15分～12時45分
- ▼場所 しんた21
- ▼内容 歯科検診、診察、身体計測、フッ素塗布の予約、発達相談、歯みがき指導、栄養相談、育児全般に関する相談
- ▼持参するもの 母子健康手帳、現在使用中の歯ブラシ
- 乳幼児健康相談
- ▼月日 2月17日(月)

女性のための健康診査を行います
骨粗しょう症健診を受けてみませんか？

市は、日ごろ健康診査を受ける
機会の少ない女性を対象に、骨粗
しょう症と成人病予防のための健
康診査を行います。

この機会に受診し、健康づくり
に役立てませんか。

▼対象 18歳から39歳までの女性

▼内容 骨粗しょう症検査、血液
検査（貧血、総コレステロール、
HDLコレステロール、中性脂
肪）、尿検査（たん白、糖、潜
血）など

▼料金 1千円

▼場所・日時・定員

健診場所	健診月日	時間	定員
市立室蘭総合病院	1月22日(休)	14時～	各日8名
	1月23日(休)		
	1月29日(休)		
	1月30日(休)		
	2月6日(休)		
登別厚生年金病院	1月28日(火)	10時～	各日10名
	1月29日(休)		
	1月30日(休)		
	1月31日(金)		

▼申し込み・問い合わせ 1月6
日(月)～14日(火)の9時～15時に保

健福祉課（しんた21内 ☎ 1850100）

TVh（テレビ北海道）

幌別局の開局

TVh（テレビ北海道）の幌別
サテライト局が、11月15日に開局
されました。

幌別エリアでのチャンネルは19
チャンネルです。

一部のご家庭では、アンテナの
調整が必要になる場合があります
ので電器店などに相談し、きれい
な映像をご覧ください。

▼問い合わせ 市民課
(☎ 18555)

平成9年度

北海道立漁業研修所研修生募集

北海道は、漁業を担う人材の育
成を目的とした平成9年度総合研

修生（少年・青年）を募集してい
ます。

▼研修内容 海難防止や気象など
の基礎知識習得、ホタテガイ・
コンブ・ウニなどの種苗生産、
養殖実習、漁具作製実技、小型
船舶操縦士や第2級海上特殊無
線技師などの資格取得講習など

◎少年総合研修（18歳未満）

▼研修期間 4月から3月の1年
間

▼定員 20名

▼参加経費（年間） 約32万円

◎青年総合研修（18歳以上）

▼研修期間 4月から3月の1年
間

▼定員 30名

▼参加経費（年間） 約39万円
※詳しくは問い合わせください。

▼問い合わせ 農林水産課
(☎ 2321)

平成9年1月15日(水)
13時～（受付12時～）

会場 登別マリンパークニクス

祝 成人

『成人式のご案内』
～20歳という新たな門出の日を迎えて～

▼対象 登別市に住民登録をしている昭和51
年4月2日から昭和52年4月1日までに生
まれた方（なお、他市町村に住民票を移し
ている方でも、連絡をいただければ出席で
きます）

※対象者には案内状を送付しますが、1月9
日(木)までに届かない場合は連絡ください。

連絡先 社会教育課 (☎ 1100)

不用品ダイヤル市

☎ 2958

おわけします（売り）

回転座椅子、ベビーゲート、ベビー
キャリア、冷蔵庫、電気ミシン、
キーボード、婦人用自転車（26イ
ンチ）、スキー靴（24.5cm）、ス
ケート（フィギュア26cm、ホッケー
25cm、ハーフ26.5cm）、夏タイヤ
（185-70R14）、スタッドレスタ
イヤ（カローラ用）、スキーキャ
リア、トレーニングジム一式、犬
小屋（小型）、シングルベッド、
床暖ストーブ

ゆずってください（買い）

食卓テーブル、犬小屋（中型）、
チャイルドシート、ホームタンク
（90ℓ）、FFストーブ、エレクト
ーン、ピアノ、糸つむぎ機（足
踏）、ワープロ

平成9年度 登別市職員募集

▶職種 運転技術員兼業務員1名

▶試験日 1月26日(日)

▶試験内容 一般教養、作文

▶受験資格 昭和41年4月2日以
降に生まれた方で高卒以上、大
型自動車免許を所有している方

▶申込期間 1月6日(月)～16日(木)

※詳しくは問い合わせください。

▶申し込み・問い合わせ

職員課 (☎ 1132)

旅券申請書についてのお知らせ

現在、胆振支庁が一般旅券申請
書（5年、10年）の交付窓口となっ
ておりますが、行政サービスの向
上を図るため、1月から市役所市
民課にも申請書を設置しました。

ご要望の方はお申し出ください。

▼問い合わせ 市民課

(☎ 1855)

相談あらかると

◎無料法律相談

交通事故、金銭貸借、損害賠償、
離婚などの法律問題について、札
幌弁護士会室蘭支部の弁護士が相
談をお受けします。

相談を希望する方は、事前に申
し込みください。

なお、裁判や調停中の問題は、
相談をお受けできません。

▼相談日・担当弁護士

2月1日(土) 村上弁護士

2月15日(土) 塩谷弁護士

▼場所 鉄南ふれあいセンター

▼時間 9時30分

▼定員 各日5名（申込順）

▼申し込み 市民課

(☎ 1855)

◎社会保険の事務相談

▼月日 2月19日(休)

▼時間 10時30分～15時30分

▼場所 鉄南ふれあいセンター

▼問い合わせ 室蘭社会保険事務
所 (☎ 7101)

のぼりべつ 新春の風景



カムイヌプリからの日の出

左手に見えるのは、幌別ダム。
蛇行している川は、幌別川。
標高745mのカムイヌプリの頂
上から望んだ朝日。
静寂の雲間から太陽が顔を出
した瞬間は神々しい。
今年も市民のみなさんにとつ
て良い年でありますように。

人のうごき

●人口 57,190(+43)
●世帯 22,866(+9)
()は前月比

平成8年11月末日現在

となりまち

ホットライン

室蘭市

「だんバラスノーフェスティバル」
手作りソリ大会の参加ソリを募集



今年も2月23日(日)に、室蘭岳の麓、だんバラスキー場
ロッジ周辺で、冬の一大イベント「だんバラスノーフェ
スティバル」を開催します。毎年好評を得ている手作り
ソリ大会の参加ソリを募集しますので、みなさんのユニ
クな手作りソリをお待ちしています。なお、興味のある
方や参加を希望される方に「手作りソリの製作要領」を
送付しますので左記まで連絡ください。

▼申込期限 2月18日(火)

※申し込みは、なるべく早めにお願ひします。

▼詳細 観光協会(☎0102)

伊達市

無病息災を願って 福はうち鬼はそと
「有珠善光寺の節分豆まき」



節分の2月3日、国指定の史跡有珠善光寺では、恒例
となった厄払いの豆まきが行われます。

厄年の人や年男、年女にあたるみなさんの1年の健康
と家内安全を願って、かみしも姿で鐘つきと豆まきをし
てみませんか。

また、伊達の冬の風物詩「有珠湾の白鳥」も一緒にご
覧になってください。

▼日時 2月3日(月)午後2時から

(厄払い希望のかたは、ご予約のうえ当日は午後1時
まで集合)

▼会場 有珠善光寺(有珠町124)

▼厄払い料 1人5千円(お膳付き)

▼申込先・詳細 有珠善光寺

(☎0142222007)

